2022年度 シラバス(授業内容)

昼間部2年 鉄道科 鉄道・交通サービスコース

1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。 当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしする こと、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカ リキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実 践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

2.科目編成(カリキュラム)の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。

全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。

- (1) 共通科目: 人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付ける科目構成です。
- (2)専門科目:各科各コースの専門分野に即した科目構成です。



2022 年度 昼間部 2 年 鉄道科鉄道・交通サービスコース

進級·卒業基準単位

		1	年	2年		卒業
		前期	後期	前期	後期	基準単位
必	共通必修	7	8	6	6	27
修	専門必修	19	23	20	16	78
合 計		26	31	26	22	105

各期全単位を取得すること。

履修科目•単位一覧

実務経験のある教員による科目

		1年前其	Я.			1年後	朝			2年前期			2年後期				
		科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数
		ホスピタリティ [演	1	15	ホスピタリティⅡ	演	1	15	脳力開発 I	演	1	15	脳力開発Ⅱ	演	1	15
		ビジネスコミュニケーション [講·演	1	15					ビジネスコミュニケーション Ⅱ	講·演	1	15	ビジネスコミュニケーションⅢ	講·演	1	15
		Let's Speak English I	演	1	15	Let's Speak English II	演	1	15	Let's Speak English Ⅲ	演	1	15	Let's Speak English IV	演	1	15
	共	キャリアデザイン [演	2	30	キャリアデザイン 🛚	演	5	75	キャリアデザインⅢ	演	1	15	国際交流	演	1	15
	通科	パソコン	演	1	15					卒業研究 I	演	2	30	卒業研究Ⅱ	演	2	30
	科目	就職筆記対策 I	講	1	15	就職筆記対策Ⅱ	講	1	15								
	_																
		小計	1	7	105	小計		8	120	小計	1	6	90	小計	1	6	90
		旅行業法・約款	講	3	45	Station English I	演	1	15	Station English II	演	1	15	Station English III	演	1	15
		国内旅行地理 [講	1	30	鉄道業務実務I	演	1	30	鉄道業務実務Ⅱ	演	3	45	鉄道業務実務Ⅲ	演	3	45
		国内旅行地理Ⅱ	講	1	30	業界受験対策	講	1	15	接客手話I	演	1	15	接客手話Ⅱ	演	1	15
		国内旅行地理Ⅲ	講	1	30	中国語 I	講	2	30	中国語Ⅱ	講	2	30	危機管理	演	1	15
必修		各種運送約款・料金	講	1	15	サービス接遇 [講·演	1	15	サービス接遇 II	演	1	15	旅と鉄道	講	1	15
修 科		鉄道運賃・料金	講	3	45	鉄道一般 I	講	1	15	鉄道一般Ⅱ	講	1	15	鉄道一般Ⅲ	講	1	15
目		時刻表実務I	講	2	30	時刻表実務Ⅱ	講	2	30	時刻表実務Ⅲ	講	2	30	時刻表実務Ⅳ	講	1	15
		国内観光資源I	講	2	30	国内観光資源Ⅱ	講	2	30	国内観光資源Ⅲ	講	2	30	鉄道接客演習	技	1	30
		国内管理者対策I	講	2	30	国内管理者対策Ⅱ	講	4	60	鉄道イベントプロモーション【	演	1	30	鉄道イベントプロモーションⅡ	演	1	30
	月月	観光業界ガイドI	講	1	15	観光業界ガイドⅡ	講	2	35	ステーションエクササイズ [演	1	30	ステーションエクササイズ I	演	1	30
	科	観光プランニング I	演	1	15	観光プランニング Ⅱ	演	2	30	観光プランニングⅢ	演	2	30	観光プランニングⅣ	演	2	30
	目	鉄道バリアフリー	演	1	15	パソコンスキル I	演	2	30	パソコンスキルⅡ	演	2	30	社会人準備講座	演	2	30
						ニュースディスカッション	講	1	15	鉄道業界研究	講	1	20				
						ディベート入門	演	1	15								
		小計		19	330	小計	-	23	365	小計	1	20	335	小計		16	285
		1年前期 計		26	435	1年後期 計		31	485	2年前期 計		26	425	2年後期 計		22	375
Ē	†			1年	計			57	920			2年	計			48	800
								2年間	合計							105	1720

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
		就職ガイダンス	オリエンテーション	中村学園祭
	スポーツ大会	中村学園祭		
行				
事				

共通科目

科目名	脳力開発 I · Ⅱ			科目区分	共通科目					
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習					
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間 後期 : 15 時間					
	住友 大我	·								
担当	実務経験 : 有・無 トレーナー業、近年はトレーナー育成業を中心に 15 年ほどの実務経験があります。									
授業概要	心身ともに健康な状態で、社会人として長く活躍できるよう、メンタルトレーニングを中心とした脳の働き(脳力)を 高める方法を学びます。									
到達目標	緊張からリラックス集中への反射を形成して、いつでも能力を発揮できるようになる。また、ストレスに対処する、 ストレスを成長につなげる、モチベーションを高める、発想力を高めるなどの内容を、脳の働きをもとに理解する。									
検定資格	なし・必修・任意	名称: メンタルウェノ	レネストレ ー ニング基	谜 谜 課程						
教科書 教材	授業用教材セット									
授業計画	自律訓練法(リラックス) ・ビジョントレーニング 情報処理能力の向上 視覚思考力、論理思想 ・脳力を発揮するための 睡眠に関連する内容(運動、食事に関連する ・その他 自己分析(エゴグラム メンタルヘルスに関連	ン法(緊張からリラックス くした集中への反射形成 (脳活ドリル、他) き力の向上 の生活習慣 ・疲労回復、記憶力、発想 の内容など	ま) 思力との関連など) ジメント、他)							
成績評価 方法	試験、出席率、平常点(打 詳細は、各期の初回授業)組み合わせで評価	じます。						
成績評価 基準	【試験】A:80 点/%以上 【出席率】A:100%、B:8 【平常点】A:優、B:良、C	0%以上、C:60%以上、I		50 点/%未満						

学生へのメッセージ

後期の授業内でメンタルトレーニングの検定試験を実施します。 合格した場合は、保有資格としてプロフィールなどに記載することが出来ます。 なお、受検料は発生しません。

科目名	ビジネスコミュニケーションⅡ・Ⅲ			科目区分	共通科目					
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	講義・演習					
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間 後期 : 15 時間					
	岡田·橋本·担当講師	l	1 2	1						
担当	当 実務経験 : 有・ <u>無</u> 									
授業概要	目的:観光・ブライダル業界人としてふさわしいビジネスマナーや必要知識を身に付けること。 概要:1年次習得した基本のビジネスマナーを基にロールプレイを交えた発展的な内容を学ぶ。 また、一般常識や必要知識を学習する。									
到達目標	標 卒業後、新社会人として必要なビジネスマナーに関する知識を得ること。また、体現できること。									
検定資格	なし・ 必修・ 任意 名称	: 秘書技能検定	₹・ビジネス能力検定ジ	ョブパス						
教科書 教材	秘書検定合格教本2・3級 新星出版社									
授業計画	 【接遇】 ・アポイントから訪問・来訪マナー・電話応対・上座、下座 【一般常識】・ビジネス文書(基本文書体裁とル・ビジネスメール・ビジネスメール・ビジネス用語 【知識】・年金、税、保険・組織(役職)と部門・慶弔・その他社会人として必要な知識ロールプレイ等を交えた実践的内 	ノール、宛名書 る								
成績評価 方法	評価試験には期末試験の他、演習		トを含みます。							
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、出席率 8 B:評価試験 70 点以上、出席率 7 C:評価試験 50 点以上、出席率 6 D:評価試験 50 点未満、出席率 6	0%以上、平常 0%以上、平常	点良 点可							

~~ ㅗ .	\sim		1 -	• •
学生へ	.(1)	***	ナフー	- 、∕
T	••/	,,	_	_

科目名	Let's Speak English Ⅲ • Ⅳ			科目区分	共通科目			
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習			
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間 後期 : 15 時間			
担当	実務経験:有・無							
授業概要	「英語で外国人と会話が出来たら」 す。シンプルなキーセンテンスをい す。 クラスはレベル別に分かれま	忘用して使える。	ように、会話、リスニング	ブ、アクティビティを迅	通して練習していきま			
到達目標	日常的な話題について、シンプルな英語でコミュニケーションをとることが出来る。 異なる国や文化の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとすることが出来る。							
検定資格	なし・必修・任意 名称:							
教科書教材	Speak Now Level 1 Student Book (Oxford)							
授業計画	My Hometown Asking about & describing places, a [Shopping] Prices & features, bargaining, frequ [Food] Quantities, needs, eating habits, de [Past & Future] Talking & asking about past events	ency scribing food						
成績評価 方法	下記評価基準に基づく							
成績評価 基準	A:評価試験(理解度)80%以上、 B:評価試験(理解度)60%以上、 C:評価試験(理解度)50%以上、 D:評価試験(理解度)50%未満、	出席率 80%以_ 出席率 60%以_	上、平常点良 上、平常点可					

学生へのメッセージ

Don't be shy! Do your best!

科目名	キャリアデザインⅢ			科目区分	共通科目				
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習				
実施期	2年 前期	単位数	前期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間				
	就職担当								
担当	実務経験:有・無								
授業概要	1 年次とは変わり、就活情報の共有を主とした授業となります。 就活は各自の目指す業界、企業により開始時期や進行状況が異なりますので、個々の進行に応じ 個別にバックアップし内定に向けサポート致します。また、内定者については自身も含めた就活情報の整理や入 社に向けたビジネスマナーの習得をフォローしていきます。 後期には内定者を対象に就職交流プラザもあります。後輩への指導や自分達の学校、学科を誇りと 出来るように積極的に自分の出来る事を考え、行動する時間としましょう。								
到達目標	1、内定及び進路決定を得ること。 2、社会人としての最低知識を有し、実行できること。 3、自身の就職活動をまとめ、後輩指導に役立たせられること。								
検定資格	なし・ 必修・ 任意	名称:							
教科書 教材	CAREER ADVICE TEXT(インテリジェンス)								
授業計画	【就職活動実践】 就活サイトを利用した就活自己 PR・志望動機作成、履小論文演習、SPI 対策と模別 【内定後】 お礼状作成、内定報告書類 【ビジネスコミュニケーション ビジネスメール作成、受付 ビジネスセールストーク術	歴書・ES 作成、面接 疑試験演習、企業講演 質作成、就活資料の整 い】 と接遇対応、名刺交換	演習、GP ワーク演習、 買 理 a、ビジネスルールの理	解、					
成績評価方法	期末試験の得点ならびに出 授業態度、提出物などが評		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(進路活動)の取り組	 む姿勢、				
成績評価 基準	A:評価試験 85 点以上 か B:評価試験 65 点以上 か C:評価試験 40 点以上 か D:評価試験 40 点未満、出	つ 出席率 80%以上 つ 出席率 60%以上	、平常点良 、平常点可						

学生への	سل لم	
マイへの	メッカー	ー`ノ

						_	1	
科目名	卒業研究 I · Ⅱ					科目区分	共通科目	
対象	昼間部全学科全コース					授業形式	演習	
実施期	2年 前期・後期	<u>i</u>	単位数	前期: 後期:		時間数	前期 : 30 時間 後期 : 30 時間	
	各ゼミ講師							
担当	実務経験 : 有・無							
授業概要	この科目は、自身の興味ある分野を広く調査研究し深く考察することを目的とする。 観光関連の中から自らがテーマを決め、主体的に調査・研究を行い、考察を入れてレポートを作成する。今まで学校で学び得た知識や経験、図書館やパソコン、見識者、実地踏査などの手段により情報を集め研究する。講師からの助言・指導を受けながら卒業までにレポートをまとめる。また、研究成果の報告としてプレゼンテーションを行う。また、ゼミ内で優秀な作品を選出し、全体でのプレゼンを行う。 なお、卒業研究レポートの中で秀逸なレポートについては、卒業時に「卒業研究レポート優秀賞」として表彰する。							
到達目標	①自身の調査した内容をレポートにまとめ提出する。 ②プレゼンテーションの作成及び発表を行う。							
検定資格	なし・ 必修・ 任意	名称:						
教科書 教材	なし(適宜必要なプリントをゼミ担当者より配布)							
授業計画	【進め方】 ・卒業での決め方 ・レポート作成における記 【調査研究】 ・調査計画の作成 ・調査計画の作成 ・調査研究の進捗に合わ ・実施内容の確認 【レポートのまとめ】 ・レポート内のまとめ】 ・レポート内のまとり ・レポート内のまとり。 ・ウポート内の作成 ・カー・ウェーションを表します。	せた個別指導 、まとめ) 法、結果、考察 する)					
成績評価 方法	・平常点は授業取組姿勢 ・以下の提出物は全て提 【提出物】前期:序論 後	出すること。						
成績評価 基準	A: 出席率 90%以上、 B: 出席率 80%以上、 C: 出席率 60%以上、 D: 出席率 60%未満、	P常点 良 P常点 可						

学生への	_	,	1.	• •
マエへん	77	***	+7.	_~`
~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	"	<i></i>	Ŀ	_

科目名	国際交流			科目区分	共通科目			
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習			
実施期	2年後期 単	立数	後期 : 1 単位	時間数	後期 : 15 時間			
	各担当講師							
担当	実務経験:有・無							
授業概要	コロナ禍により一時は海外との交流が途絶えてしまいましたが、それでも今後、私たちが多くの国籍の方たちに接し、共に暮らし、共に働く環境が復活することでしょう。この科目は、ITHならではの校内で異文化に触れることが出来る環境を活かし、留学生との交流を通してお互いの「文化」「習慣」の違いを学び、理解を深めることを目的とします。							
到達目標	①外国人旅行者、移住者、働く仲間として交流のできる人材となる。 ②海外の方に伝えたい「日本の事」を動画で表現。社会に出た際に表現の組み立て、立案を行える事を目標。 ③日本の「文化」「習慣」をどのくらい知っていますか。自ら調査し接客に生かせる姿勢を身に着ける							
検定資格	なし・ 必修・ 任意 名称:							
教科書 教材	なし(適宜必要な資料、プリント等を配布)							
授業計画	【日本の生活調査】 個人ワーク、グループワーク ①年中行事、自然風土、スポーツ、音楽 ②観光庁資料から「外国人旅行者が日本 チームごとの「こうしたら良いのでは 【動画作成】 グループワーク チームに分かれてテーマを選び、徹底的 【発表・交流】 留学生、ネイティブ講師に対して発表を	いたきては?」と	「困った事」を調べる。 こいった改善策を含ませて	ごチームごとに発	悉表。			
成績評価 方法	・授業取組姿勢・発表内容・国際交流への意欲							
成績評価 基準	A: 出席率 90%以上、平常点 優B: 出席率 80%以上、平常点 良C: 出席率 60%以上、平常点 可D: 出席率 60%未満、平常点 不可							

学生への	L.	
ニーハハ	スいノエノー	-·/

鉄道・交通サービスコース 専門科目

科目名	·				1
	Station English II • III			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービス	コース		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間 後期 : 15 時間
	Robert				
担当	実務経験:有・無				
授業概要	鉄道業界で働く際に遭遇す 海外からのお客様に日本の 応用して使えるよう、会話、	文化や東京近郊の観	見光地を案内する英語を習	習得します。シンプ	
到達目標	テキスト Station English II と 話することが出来る。	:皿の Conversation を	・暗記し、それぞれの窓口	コ担当スタッフのバ	パートを、スムーズに会
検定資格	なU · 必修 · 任意	名称:			
教科書 教材	オリジナルテキスト				
授業計画	・挨拶 / 特急券の販売() ・特急券の販売(空席状況 ・ 大数の確認 ・指定席と自由席 ・金額の提示 / 支払いた ・行先の変更 ・途中下車 ・切符の紛失 【復習/会話テスト】 ・復習 ・1 人ずつ会話テストを実施	が確認)	・人気の理由・観光地へのジャン・電士山についい・電化製品にごり・温泉【復習/会話デジャン・復習	行き方 いて ついて(秋葉原)	
成績評価 方法	評価試験は会話テストを実	施し、出席率・授業態	要と総合して評価します。		
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、出 B:評価試験 60 点以上、出 C:評価試験 50 点以上、出 D:評価試験 50 点未満、出	席率 80%以上、平常 席率 60%以上、平常	 点良 点可		

学生へのメッセージ		

科目名	鉄道業務実務Ⅱ・Ⅲ					科目区分	専門科目		
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース 授業形式 演習								
実施期	2年 前期・後期 単位数 前期:3単位 時間数 前期:45 時間 後期:3単位 後期:45 時間								
	響丈			12777 : 0	, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>		izm : is injuri		
担当	実務経験:有・無	鉄道業界	にて駅務、車	掌、運転士	として実務経験	験あり。			
授業概要	安心・安全・正確が当たり前の日本の鉄道ですが、それは鉄道掛員の地道な業務で成り立っています。 1年生の時に学んだ基本を活かし、駅掛員、車掌の業務、運転士の業務の肝とは何なのか、授業で知識を習得していただきます。 また、学校内の施設を活用して、アナウンスや基本動作、CS の知識を活かしたお客様との応対などを体験し、鉄道の仕事の本質をさらに知っていただきます。								
到達目標	また、実際の業務を疑似また、鉄道に限らず、社				5 .				
検定資格	なし・ 必修・ 任意	名称:							
教科書 教材	プリント								
授業計画	【鉄道輸送と安全につい 鉄道の運転の世界とは 、鉄道と法律】 網領とは・求められる 鉄道営業法について(原 、鉄道営業事故に 三河島知識】 列車と東西 鉄道信号について ATS・ATC などの保時間 電車等の表示・24時間制 電車を体験】 実践的なアナウンス 基本動の表示・24時間制 電車の表験】 実践的なアナウンス 基本がの音監視・駅 車掌の責任とは・駅 車掌の乗車等の案 平常時・異常時の案	人物 (因と問題だまま) (表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表		の重要性の	原点)				
成績評価 方法	評価試験は実技・筆記	試験の合計	で 100 点とし	ン、授業参加	意欲を平常点	として評価する) ₀		
成績評価 基準	A:評価試験 90 点以上 B:評価試験 70 点以上 C:評価試験 50 点以上 D:評価試験 50 点未満	、出席率 、出席率	70%以上、平 60%以上、平	常点良 常点可					

学生へのメッセージ

最後の学生生活、授業を通じ、学生から社会人になるための心構えをしておきましょう。

科目名	接客手話Ⅰ・Ⅱ				科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース・銀	授業形式	演習			
実施期	2年 前期・後期		単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間 後期 : 15 時間
	飯塚 佳代					
担当	実務経験: 有・無	手話通訳	±			
授業概要	ユニバーサルサービス。 級単語学習を行う。聴覚					
到達目標	1年次においては手話権	食定4級レベ	いを目指す。			
検定資格	なし・ 必修・ 任意	名称:	手話技能検定	4級		
教科書 教材	手話技能検定公式テキン	スト3・4級(日本能率協会	マネジメントセンター)		
授業計画	【日常生活で必要な基本あいさつ・天候・疑問・参 【日常生活で必要な基本食べ物・動物・スポーツ 【日常生活で必要な基本手話で行う歌や検定対 【聴覚障害概要の学習】 手話とは・聴覚障害者。障害者のコミュニケーシ	数字・日にち を学習Ⅱ】 ・・趣味・乗り を学習Ⅲ】 策に向けて とは・耳の様	・時間・家族・グリ物・形容詞・届 「過去問題の学 構造・聴覚障害	詞・施設・地名・接客= 習を行う。 の種類・聴覚障害者数	手話などを学習する。 女・聞こえのレベル・∮	
成績評価 方法	授業内におこなう実技記	 ば験と期末記	 忒験、出席率、i	受業態度を総合的に認	 平価します。	
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、 B: 評価試験 60 点以上、 C: 評価試験 40 点以上、 D: 評価試験 40 点未満、	. 出席率 70° . 出席率 60°	%以上、平常, %以上、平常,	点良 点可		

科目名	中国語Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービ	: :スコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期: 2単位	時間数	前期:30 時間
	張 翼飛				
担当	実務経験 : 有・無				
授業概要	この授業ははじめて中国 ける、初歩的な中国語で				な言葉や表現を身につ
到達目標	基本的な会話を身に付け	ナ、鉄道業界の現場で想	まされる状況に応じた	対応ができるレベル	を目標とします。
検定資格	なし・ 必修・ 任意	名称:			
教科書 教材	前期 中国語初歩の初後期 プリントを配布)歩 高橋書店			
授業計画	後期 駅構内、近隣の中国語系 新幹線車内販売時使う中 車内アナウンスを使う中 電車遅延時使う中国語イ クレーム対応時使う中国 身体の不自由な方への 中国語テスト対策	中国語センテンス 国語センテンス センテンス 記語センテンス			
成績評価 方法	授業内にてテストを実施 ※業界人として相応しく 試験結果、平常点、出席	ない身嗜みの者は、平常			
成績評価 基準	A: 授業内期末試験 90% B: 授業内期末試験 70% C: 授業内期末試験 60% D: 授業内期末試験 60%	6以上、出席率 60%以上、 6以上、出席率 60%以上、	、平常点良好 平常点普通		

学生へのメッセージ

今後増加するインバウンド需要に合わせ、鉄道会社では中国語で接客に力を入れています。駅スタッフ、車掌等の鉄道業界への就職後に使用する機会も多いと思いますので一緒に頑張りましょう。

科目名	サービス接遇Ⅱ					科目区分	専門科目		
対象	鉄道科鉄道・交通サービ	· フ ¬ — フ				授業形式	演習		
実施期	2年前期		単位数	前期:	1 出任	時間数	前期 : 15 時間		
天心舟			中世数	刑刑:	1 串四	中寸日封文	削粉: 10 时间		
担当	担当講師 実務経験 : 有・ 無	エアライン	*業界にて地上	-職及び客	室乗務員として写	ミ務経験あり。			
授業概要	1年次に学習した内容を、知識や情報としてではなく実践的に社会で使えるようにしていきます。 鉄道業界の最新の時事問題をとりあげたニュースサマリーの発表と質疑応答を通して、接客サービスを提供する 上で必要な「セルフプロデュースカ」を培う。								
到達目標	●「サービスマインド」と ●アサーティブな接客に								
検定資格	なし・必修・任意	名称:							
教科書 教材	適宜プリント等を配布								
授業計画	●1年次の復習(チー」 メラビアンの法則に ①視覚情報(姿勢 ②聴覚情報(声の ③内容(言葉遣い ●要約課題と発表(最新・過去1週間におきた ・発表後、内容に関・講師から視覚的・原	沿って、各情・視りのトーン・大い・順番・分に にユースを対けた になりではない。 になりではない。 これでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	情報から具体 線など) きさ・話すスピ かりやすさなる 通して鉄道業 ニュースの中 答	的な矛盾が (^ード・など ど) 界の現状で から各自な	点を探す ``) を知り、日本語カラ が1つ選び、それ				
成績評価 方法	評価試験・課題・出席状況	況•平常点 <i>0</i> .)総合評価とす	ける					
成績評価 基準	A: 評価試験 90%以上、 B: 評価試験 80%以上、 C: 評価試験 70%以上、 D: 評価試験 70%未満、	課題提出 課題提出	回数·内容 E 回数·内容 C	3、 出席 ^率 、 出席 ^率	≤ 80%以上、平常 ≤ 70%以上、平常	点 優·良 点 可			

科目名	鉄道一般Ⅱ・Ⅲ				科目区分	専門科目				
対象	鉄道科鉄道・交通サービ	ジスコース			授業形式	講義				
実施期	2年 前期・後期		単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間 後期 : 15 時間				
	響文									
担当	実務経験 : 有・無 鉄道業界にて駅務、車掌、運転士として実務経験あり。									
授業概要	鉄道を運行する仕組み、 運転専門用語、鉄道専門				両のしくみなどの学習					
到達目標	保安装置、車両等の種類	類•運転用詞	唇の意味と理解	₹・現場についてのタ	知識の習得を目指します	t.				
検定資格	なし・ 必修・ 任意	名称:								
教科書 教材	プリント									
授業計画	【鉄道輸送と安全につい 鉄道員の安全輸送の打 鉄道員とは・求められる 安全輸送の使命 鉄道所の事送法の使っ 運転の事故・三 選転の事故・三 選手を発達を 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	計計、【安全 計算を は は は は は は は は は は は は は	綱領】とは こついて (原因と問題 「による列車」 「運行がすべる」 「の働き」 い	重行管理について						
成績評価 方法	 期末テストの点数(授業	理解度)とと	出席率、平常点	頼のすべてにおいて	基準を満たすものを評	価とする。				
成績評価 基準	A: 評価試験 90 点以上、 B: 評価試験 70 点以上、 C: 評価試験 40 点以上、 D: 評価試験 40 点未満、	出席率 70 出席率 60	%以上、平常, %以上、平常,	点良 点可						

学生へのメッセージ

鉄道好きが知っている知識ではなく、鉄道のプロの知識を様々な観点からお教えします。 鉄道の真髄を学びましょう。

科目名	時刻表実務Ⅲ·Ⅳ				科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース 授業形式 講義					
実施期	2年 前期・後期	<u> </u>	単位数	前期 : 2 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期: 30 時間 後期: 15 時間
	響丈					
担当	実務経験: 有・無	鉄道業界に	こて実務経験	 あり。		
授業概要	旅行・鉄道に関連する業 学び磨いてきた時刻表の はJR以外の部分(私鉄))技術を、よ	り実践的に現			
到達目標	業界で必要とされる時刻	表実務能力	の習得を最終	冬目標とする。		
検定資格	なし・必修・任意	名称:				
教科書 教材	JR時刻表(交通新聞社	t)				
授業計画	【今年度の改正点】 路線、列車の改廃につい 運賃料金制度の改定に 【時刻表の実践的な技術 総合演習問題による調 ・区間外乗車、乗継割 ・特定都市、IC乗車券、 【時刻表のより実践的な 乗継早見表と運賃特急、 ・新幹線と在来線等 ・通過連絡運輸 【時刻表の実務者レベ。 ・新幹線と関連によ急可 ・通過連絡で ・新幹線として、 ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・	ついて 習り では できます で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	務的技術習得由席・グリーン			
成績評価 方法	下記成績評価基準に基づ	づく。				
成績評価 基準	A:授業理解度 80%以上 B:授業理解度 60%以上 C:授業理解度 40%以上 D:授業理解度 40%未満	、出席率 80 、出席率 60)%以上、平常)%以上、平常	的点良 的点可		

科目名	国内観光資源Ⅲ			科目区分	専門科目					
対象	観光科トラベルコース・銀	<u> 供道科鉄道交通サービ</u>	スコース	授業形式	講義					
実施期	2年 前期	単位数	前期:2単位	時間数	前期:30時間					
	松川信也									
担当	実務経験:有・無	元添乗員。観光系の基	専門学校において旅行か	や国家試験対策の教	鞭実務経験あり。					
授業概要	②「日本神話のふ③「日本のパワー	む応用材料として (弁」…駅弁の楽しみるさと」…古事記・ その舞台・スポット」…勝負運	、当授業では、以下の 方と実際の有名駅弁を 日本書紀に出て来るは となった場所を近辺の 、金運、縁結びなど、 隣の観光地とともに 「航空」について、雑	を学習 出雲神話や日本創世 の観光地とともに学 パワースポットと 学習	せ神話を ◆習 :言われる場所を					
到達目標	上記3つの応用地理テ 内旅を楽しむ手段を身 つける。									
検定資格	なし									
教科書 教材	なし(プリント配布)									
授業計画	・その駅弁の販売。 ・ 日本神話のふるさる・古事記の「日本創作「マンガ古事記」や・それらの舞台となった所以や、「 ・ 日本のパワースポ・俗にいう「パワースポリ整理。 	世」〜「ヤマトタケル」。 DVDを利用する。 つている場所を把握 関連観光地の知識を ット 、ポット」を「武運」「金選	生や文化なども学習。 までのストーリーを理解。 、結果そこが観光地と 習得する。 型」「縁結び」の 周辺観光地も学習。		々の知識習得。					
成績評価 方法	各パート終了ごとに小テ も実施し、期末試験、出版			場合は0点扱いなの	で注意。期末評価試験					
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、 B:評価試験 60 点以上、 C:評価試験 40 点以上、 D:評価試験 40 点未満、	かつ 出席率 60%以_ かつ 出席率 60%以_	L、かつ 平常点良以上 L、かつ 平常点可以上							

学生へのメッセージ

1 年次の国家試験対策中心となる「国内旅行地理 I ~Ⅲ」とはやや観点を変え、実務上役に立つさまざまな国内観光トピックスを取り上げます。楽しく学習しながら知識を深めましょう。

科目名	鉄道イベントプロモー	ションⅠ・Ⅱ				科目区分	専門科目			
対象	鉄道科鉄道・交通サー	ビスコース		授業形式	演習					
実施期	2年 前期・後期		単位数	前期 : 後期 :		時間数	前期 : 30 時間 後期 : 30 時間			
	響文									
担当	実務経験: 有・無 鉄道業界にて駅務、車掌、運転士として実務経験あり。									
授業概要	各鉄道会社では、自分の会社を利用していただくための様々なイベントを考え行っている。子の授業ではそういったイベントを研究し、「自分がイベントを担当することになったら」をグループで考える。また、外部のイベントに参加することにより必要な知識の習得と、お客様に喜んでもらうコミュニケーション能力・リピーターを作るという経営の視点を養う。									
到達目標	様々な鉄道会社が取り	組んでいるイク	ベント内容	を知る。	プレゼンテーショ	コン能力を身に	:付ける。			
検定資格	なし · 必修 · ·	 任意 名 ²	<u></u> 称:							
教科書 教材	なし (作成したプリ)	ントなど)								
授業計画	【鉄道会社が行う様々な 鉄道会社が行う様々な その中で対外的な経済 【実際のイベントに参う 各グループを作り、自: ※ツーリス・ム EXPO には各自 イベントを研究・企同 グループごとに分かれ 【イベントの提案と イベントの提案を は合き は合き はっして イベントの提案を は合き はっして はっして はっして はっして はっして はっして はっして はっして はっして はっして はっして はっして がれるがれる。 はっして はっして はっして がれるがれる。 はっして はっして がれるがれるがある。 はっして はっして はっして がれるがれるが はっして はっして がれるがれるが はっして はっして はっして がれるがれるが はっして はって はっして はって はっして はっして はっして はっして はっして はっして はっして はっして はっして はっして は	イベントを知り 対果や集客に かまる。】 かたちで参加する。】 、で必ず参加する。】 、・発表】 ・発表】 ・ペント ・ペント ・ペント ・ペント	り、その交 こついて学ぶ したいイベーること ーーションに ターゲッを行 レゼンを行	加果を考え が。 ントや興 つ合社に う。	よる。 味のある鉄道会社 もなイベントを 合わせた企画を作	±の企画に参加研究・企画する	1してくる。 る。			
成績評価 方法	評価試験はプレゼンテーまた、授業参加意欲を			、筆記試	験との合計で 100) 点とする。				
成績評価 基準	A:評価試験 90 点以上 B:評価試験 70 点以上 C:評価試験 50 点以上 D:評価試験 50 点未混	、出席率 709 、出席率 609	%以上、平常 %以上、平常	常点良 常点可						

学生へのメッセージ

この授業はひとりひとりのアイデアと、チームワークを必要とします。ひとりひとりが手抜きをせず、チームで協力して取り組みましょう。

			ンフハス(お	不可凹/		T .		
科目名	ステーションエクササイ				科目区分	専門科目		
対象	鉄道科鉄道・交通サー	ビスコース		T	授業形式	演習		
実施期	2年 前期・後期		単位数	前期:1 単位 後期:1 単位	時間数	前期:30 時間 後期:30 時間		
	北原 大輔							
担当	実務経験: 有・無 スポーツインストラクターとして実務経験あり。							
授業概要	仕事で最低限必要な体力を身に着ける。健康維持増進のために日頃から身体を動かしておくことは必要不可欠なことであり、また、身体運動量が比較的高い職業においては、高い体力レベルを保持しておくことが望ましいと言えます。基本的な運動を通じて精神力と敏捷性、持久性、平衡性など、はつらつとした身体をつくります。また、球技スポーツの体験を通して、健康および体力の向上を図るとともに、運動習慣を体得し、生涯に渡り運動・スポーツを実践できるようになることを目指します。加えて、コミュニケーション能力とリスペクトの精神を養うことで、社会人として必要とされる他者と協働する力を鍛えます。							
到達目標		健康づくりのための身体活動基準以上の運動・スポーツの実践 体力向上のための定期的なトレーニングの実践(自己目標の設定)						
検定資 格	なし・ 必修・ 任意	名称:						
教科書 教材	なし、必要によりプリント用意							
授業計画	【健康と体力】【筋トレ I 「健康」、体力」、「健康」、体力」、「健康筋トレ、器具の使い方がスケットボールなど(ウォーキング、ランニン【ストレッチングの意義、持久カトレーニングの意義、持久カトレ II 】【運動と安全前期より負荷を上げて傷害の理解と予防形態計測、筋力測定、	を体力の間や や競技のでは、 かかりでは、 かかりでは、 かかりでは、 かった。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	関係」についるいで、ルールの理がいかり方と効がいた。 いかり方と効がいかり方と効がいた。 に持続性トレージを図る	て学ぶ 解と実践) 用 ーニング)	、ランニング】			
成 績 評 価 方法	※平常点は、授業への)参加度や	授業態度など	ぎを加味して 20 点流	満点とし、上記評価点	i数に組み込まれる。		
成績評 価 基準	B:授業内期末試験 C:授業内期末試験	50 点以上 30 点以上	、出席率 609 、出席率 609	6以上、平常点 15 6以上、平常点 10 6以上、平常点 5点 6未満、平常点 5点	点以上 良 以上 可			

ショウ カ	年リルー・ニュート ギャロ・エ			NODA			
科目名	観光プランニングⅢ・Ⅳ	인상)품·ᄎ홀프 ばっっ	7	科目区分	専門科目		
対象	│ 観光科トラベルコース、鉄道 [;] │		前期 . 2 単位	授業形式	演習 前期 : 30 時間		
実施期	2年 前期・後期	単位数	後期:2単位	時間数	後期 : 30 時間		
	立石 智之	•					
担当	実務経験 : 有・無 立石:旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。						
授業概要	昨今の観光とは、ただ「かお客様毎に達成したいを「どうすればお客様に選また各観光地を題材にしどのようにすれば改善で	目的を観光業に携わる ばれるか」を考えなが たイベント等にも参加	観点から考察し「どの。 ら様々なイベントを企 し、お客様から見た視	画します。 点を養い、改善点や問	-		
到達目標	1 年次に学習したプラン 実際に各地のイベントを グループワークを中心と	参考にしながら新しい	イベントの企画立案や	企画書の作成を行い	画を作成する		
検定資格	なし・必修・任意	名称:					
教科書 教材	なし						
授業計画	授業の概要説明と進めたテーマ作成に当たってのツアープランニングの補グループ分け、ツアーテ打合せ内容を基にツアー決定したツアーテーマで各グループのプレゼンパワーポイントの作成、プレゼンシミュレーション各グループに分かれて、また実際に各地のイベングループトで、意見をだめ、)注意 足説明、ツアー作成の 一マ仮決定、意見交換 一マの最終決定 の行程表作成 内容の検討、再構成 企画発表準備 、資料作成 イベントを体験・作成す いに参加し、事前の問 にあい資料を作成。	・ ることにより問題点を		^発見をみつける。		
成績評価 方法	プレゼン評価を点数化し	、出席率、平常点の総	合点数にて評価する				
成績評価 基準	A:授業理解度プレゼン B:授業理解度プレゼン C:授業理解度プレゼン D:授業理解度プレゼン	評価 60 点以上、出席 評価 40 点以上、出席	率80%以上、平常点日率60%以上、平常点日本	 可			

科目名	パソコンスキルⅡ				科目区分	専門科目
対象	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				授業形式	演習
実施期	2年前期	単位数	前期 : 2 単	id付	時間数	前期 : 30 時間
ンパロハリ	三十二 的别 真舘 尚子	一一一次	1 13791 . 2 4		EJIHIXX	13791 . GO HAITHI
担当						
	実務経験 : 有・ 無					
授業概要	社会人になるにあたって現代では クセル、パワーポイントを含めたP				引き続き、この	の授業ではワードやエ
到達目標	ワード・エクセル・パワーポイントの ベルを目指す。 日本語ワープロ検定3級程度の能					インドタッチが行えるレ
検定資格	なし・ 必修・ 任意 名称: 日]検定			
教科書 教材	なし(適宜プリントを使用します)					
授業計画	【タイピング】 ・ホームボジションについて ・ショートカットキーについて 【クラウドについて】 ・クラウド内にファイルを保存 ・保存したファイルを編集する ・他のアカウントとファイルを共有 【Power Point】 ・Power Point の基本操作について ・効果的な資料の作り方 ・アニメーションについて ・画像と動画の埋め込み方 【Word】 ・Word の基本操作について ・文書の作成と画像の埋め込み 【Excel】 ・Excel の基本操作について ・表とグラフの作成 ・印刷範囲の設定と Word への組	C				
成績評価方法	授業内で提示される課題の提出と	発表、テスト期	間のテストを	総合して判断しま	きす。	
成績評価 基準	A:授業理解度 80%以上、出席率 B:授業理解度 60%以上、出席率 C:授業理解度 40%以上、出席率 D:授業理解度 40%未満、出席率	70%以上、平常 60%以上、平常	常点:良 常点:可			

学生へのメッセージ

パソコンは仕事をする上で必ず必要になります。効率的に仕事をこなすことができるよう、今しっかりパソコン操作に慣れておきましょう。

科目名	鉄道業界研究	科目区分	専門科目		
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース	授業形式	講義		
実施期	2年前期 単位数 単位数	時間数	前期: 20 時間		
	響丈	11日秋	13791 · 50 Hillel		
担当	実務経験: 有・無 鉄道業界にて駅務、車掌、運転士として実務経験	食あり。			
授業概要	各事故を題材に研究し、それがなぜ起きたのかやどうすべきだったのかを を想定し、様々な視点で物事を考え、将来の現場業務に生かしていく。 また、グループワークを通じ、「相手に伝える」という勉強にもなる。	を、自分の今の立り	易や将来なり得る立場		
到達目標	今回学ぶ各事故についての内容把握、調べた内容を発表する。				
検定資格	なU · 必修 · 任意 名称:				
教科書 教材	別途、プリントを配布する。				
授業計画	【題材(仮)】 題材①: 福知山線脱線事故 題材②: 羽越本線脱線事故 題材③: 京福電鉄列車衝突事故 【上記題材について】 ① 映像・動画等で主な概要等を知る ② 概要等について個人でまとめる ③ 各自のまとめを用い、ディスカッションしながら模造紙にまとめる ④ 各班の発表 【具体的に】 ・誰が原因で事故が発生したのか ・どうすれば防ぐことができたのか ・どうすれば防ぐことができたのか ・自分が当事者だったらどうしていたか など、日頃はあまり考えない所をグループワークを通じ、学んでいく。				
成績評価 方法	下記成績評価基準に基づく。				
成績評価 基準	A:授業理解度 90%以上、出席率 90%以上、平常点優B:授業理解度 70%以上、出席率 70%以上、平常点良C:授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可D:授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

いつも当たり前に利用している鉄道が、どのようにして出来て来たのかを学ぶとともに、鉄道の仕事のシビアさを知り、それを人に伝えられるようになりましょう。

科目名	危機管理		科目区分	専門科目
対象	祝んなもな 観光科トラヘブルコース、鉄道科鉄道・交通サービスコース		授業形式	演習
実施期	2年後期 単位数		時間数	後期: 15 時間
大心的	本 後期 本位数 本位数 立石 智之		中寸 中 支 X	久初]。
担当	<u> </u>	美あり。セールスや内勤、コー	ルセンター等で	 で9年経験。
授業概要	危機管理とは、不測の事態に対して事前に準備す。ここの授業では皆さんの生活や今後の社会情報など様々なリスクを学び、さらにそれらのリ内ができるように演習を行います。	人人生を考え、地震・火災また	とお客様の負傷	易時の知識の他、SNS
到達目標	・社会のあらゆるリスク、SNS(情報)・災害(地震らが進んで行動できる	雲・火災)、人身事故による緊急	急搬送等の基準	卜的な知識を持ち、自
検定資格	なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	なし			
授業計画	【情報伝達・社外秘の重要性】 ・SNS サービスの怖さ ・社外秘の重要性 ・社会における機密の重要性 【地震・火災】 ・地震・火災防止知識・発生時の基礎知識 ・社会における災害対策設備知識 ・災害時初期対応・実技練習 ・応急対応や緊急時の搬送について 【確認テスト実施】 ・グループに分かれ災害対策演習 ・確認テストの実施			
成績評価 方法	小テスト、期末テストの点数(授業理解度)と出席	ま率、平常点のすべてにおいて	て基準を満たす	ものを評価とする。
成績評価基準	A:授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平 B:授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平 C:授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平 D:授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平	常点良 常点可		

学生への	· JL	2.5
	, y.,,a/=	—·/

科目名	旅と鉄道			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース 授業形式 講義				
実施期	2年 後期	単位数	後期:1単位	時間数	後期 : 15 時間
7 402.77	松川信也		1	1 11 12 1	1000
担当	_	添乗員経験あり	0		
授業概要	「鉄道を使った旅」をさまざまな角 国内の旅行では、なくてはならな み方を紹介します。鉄道業界の最 実際に使用できる知識や今後大	い鉄道を使うこと 最新トピックスも終	とにより、毎回色々なテ 紹介します。	ーマに沿って旅行を	
到達目標	鉄道を利用した旅の楽しみ方を!	身につけ、方法を	説明できる。		
検定資格	なし・ 必修 ・ 任意 名称	:			
教科書教材	なし				
授業計画	【新幹線利用の旅】 ・新幹線の歴史、車両把握 ・路線ごとの利用者にとっての違い ・新幹線路線の今後 ・観光列車になっている特別な新幹線 【ローカル線の旅】 ・観光列車紹介 ・SL路線 ・青春 18 きっぷ活用法 ・「津軽」の鉄道 【秘境駅・廃線跡訪問の旅】 ・秘境駅とは ・「肥薩線」「大井川鉄道」に見る秘境駅 ・北海道「幸福駅」をはじめとする廃線跡の活用 【その他旅を楽しむ鉄道トピックス】 ・難読駅名 ・珍しい駅				
成績評価 方法	知識の習得度合いを期末時に実 点扱いとする。平常点、出席率、			パートごとに授業内	課題が出されて、平常
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、かつ 出 B:評価試験 60 点以上、かつ 出 C:評価試験 40 点以上、かつ 出 D:評価試験 40 点未満、または	3席率 60%以上。 3席率 60%以上。	、かつ 平常点良以上 かつ 平常点可以上	J	

学生へのメッセージ

鉄道科の皆さんにとって、最後は「鉄道旅を楽しむこと」が究極の目標ですよね。人それぞれ楽しみ方がありますが、さまざまな手法を紹介するので、これまでの楽しみ方の再確認や新たなる手法の取入れ、また情報交換の場としての授業を楽しんでほしい。

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
科目名	鉄道接客演習			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービス			授業形式	実技
実施期	2年後期	単位数	後期 : 1単位	時間数	後期 : 30 時間
	響丈				
担当	実務経験:有・無	鉄道業界にて駅務、	巨掌、運転士として実務	経験あり。	
授業概要	これまで学んできた地理また、実際のお客様から		もうことを意識した内容とし する練習をする。	て学ぶ。	
到達目標	観光地と最寄り駅を覚え	、時刻表を用いてお客村	様に正確に案内できるよう	にする。	
検定資格	なし・必修・任意	名称:			
教科書 教材	「JR時刻表」(交通新聞・「旅に出たくなる地図・日「国内観光地理サブノー	本」(帝国書院)			
授業計画	【最寄り駅と観光地を学・東北地方・関東地方・関東地方・中部地方・近畿地方・近畿地方・近畿地方	時間・値段を調べる】 だけでなく、時刻表を用	いて所要時間・値段を伝え	える。	
成績評価 方法	下記成績評価基準に基	 づく。			_
成績評価 基準	A:授業理解度 80%以上 B:授業理解度 60%以上 C:授業理解度 40%以上 D:授業理解度 40%未満	-、出席率 80%以上、平 -、出席率 60%以上、平	常点良 常点可		

学生への	L.	
ニーハハ	メバノエノー	-·/

子王へのアグセーン		

				T	T -
科目名	社会人準備講座			科目区分	専門科目
対象	鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	演習
実施期	2年後期	単位数	後期:2単位	時間数	後期: 30 時間
	立石 智之				
担当	実務経験: 有・無				
授業概要	これから社会人として活躍する 言葉遣いについて学びます。 社会に出て恥ずかしい思いをし				常識やマナー、
到達目標	社会人として求められる最低限	の常識、マナ	-一や言葉遣いを実践	浅できることを目標	長とする
検定資格	なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	なし 適宜プリントを使用する				
授業計画	【社会人としての心構え 基本マナー】 ・社会人と学生の違いを考える ・新卒で働く意義とは ・あいさつ 仕事に対する姿勢 ・周囲とのコミュニケーション SNS サービスの怖さ 【社会人としての常識】 ・出社から退社まで ・身だしなみ ・電話の対応(かけ方、出方、取りつぎ方、切り方) 【社会人としての言葉遣い、社交文章】 ・丁寧語、尊敬語、謙譲語の使い方 ・ビジネス文書の書き方、ビジネスEメールの書き方、会社で使うビジネス用語 【お金についての基本情報】 ・お金を稼ぐ、使う、貯める ・税金について、円/ドル相場と株のしくみ 【福利厚生について】 ・社会保険と制度、持ち株制度など				
成績評価 方法	期末テストの点数(授業理解度)とは	出席率、平常点	でのすべてにおいて基	準を満たすものを評	価とする。
成績評価 基準	A:授業理解度 80%以上、出席率 9 B:授業理解度 60%以上、出席率 9 C:授業理解度 40%以上、出席率 9 D:授業理解度 40%未満、出席率 9	30%以上、平常 30%以上、平常	常点良 常点可		